

道の駅から市内の他の観光施設や飲食店へ誘導するなどのPRに努めるとともに、関連して食をテーマにした「ぐるっと博スタンプラリー」等の効果的な施策を実施し、さらなる市内への誘客拡大に努めたい。

**議員** 毎年10月に実施する

「大空と大地のカーニバル」

については、全国のファンやマニアが大挙してこの地に集まる知名度の大変大きなイベントとなっている。

そして単に規模が大きいだけでなく、観客の心を揺さぶる、感動的なイベントであるとの評判もある。今後このイベントを継続し、さらに発展させていくことが本市の知名度アップに大きく寄与すると思われるが、どうか。

**市長** 干拓地で行うイベントということもあり、様々な条件等も考慮しなければならぬが、今後市内外から多くの皆様を歓迎したいと考えている。

# 公明党

質問者 齋藤一信  
所属議員 藤照金



## 笠岡市の教育事業について

**議員** 地理的な理由等で統廃合ができない地域においても、教育の質を確保するため、複式学級を有する学校等を優先的にモデル校として、タブレット導入を実施してはどうか。

**教育長** 機器の導入だけではなく、専用のソフトウェア

アやシステムの導入、職員研修の実施等も念頭に入れながら検討したい。

## 笠岡市の文化交流について

**議員** 高梁川流域広域連携において、本市とゆかりの深い人物である清水比庵氏を取り上げた文化交流を高梁市と行うことができないのか。

**教育長** 現在竹喬美術館では、高梁市をはじめとする高梁川圏域の自治体や関係機関との間での作品の貸出し・借用による連携体制を構築して交流を図っているが、今後もどのような交流ができるか模索したい。

## 笠岡市の防災事業について

**議員** 住民、消防団員の安全確保の観点から、島しょ部を含めた海岸周辺、漁港を中心にネットワークカメ

ラの設置・整備をしてはどうか。

**市長** 防災情報をインターネットを通じてリアルタイムで市民に提供することは、高潮災害発生時において迅速な対応が期待でき、また普段から防災への意識を高めることにもつながり、大変有意義であると考え、今後研究したい。

## 笠岡市のがん予防対策について

**議員** 今や2人に1人はがんにかかり、3人に1人はがんで亡くなると言われており、がん検診受診率の向上は重要である。がん検診未受診者に対して、コール・リコール、いわゆる個別受診勧奨を行い、一歩踏み込んだ対応が大事だと考えるが、本市の考えをたずねる。

**市長** 現在コール・リコールの取組みの他にも女性の受けやすい日程を考慮し、土曜日の検診日を計画する

などとして、一人でも多くの方に受診していただくように取り組んでいるところである。

さらに、今後、特定健診の未受診者に対して、再度の受診勧奨の案内を行い、10月に予定している保健センターでの集団検診、来年2月末までに実施予定の医療機関での個別検診の受診に結びつけていきたいと考えている。

## 笠岡市の健康寿命の延伸対策について

**議員** 例えば「ぐるりんウォーク推進企業」というステッカーを作成し、その企業は社員の健康づくり協力宣言をしていただくなど今は地元企業や地域団体を巻き込んだ形での健康促進運動を展開する必要があると考えるが、どうか。

**市長** 今後商工会議所とも連携を図り、早急に進めていきたい。